



安中だより

【第13号】

令和7年 11月 25日

TEL32-0057 FAX32-4377

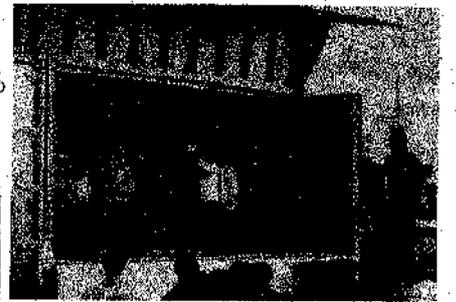
【文責 校長 浦島 容子】

2学期ここまで来ました

期末テストが終わり、2学期の終盤です。多くの方に支えていただき、学校が動いてきました。子どもたちは力をつけ、「自分の学校をどうしたいのか」「自分はどうしたいのか」などを考え行動し始めています。

先月ですが、11月12日(水)に安中感謝祭を実施しました。工事関係者、日頃お世話になっている方々に感謝を伝えることができ、学校にとって楽しくうれしい一日でした。

下の3年生の準備と後片付けの様子(写真)をご覧ください。実行委員と全員が何をしたらよいか主体的に考え、行動しました。力を持っています。多くの保護者と地域の方々からご支援いただき、ぬくもりと愛情あふれる町の学校で子どもたちは育っています。



安中『ここから』 目指すところへ

4月から11月まで8ヶ月間、子どもたちは力をつけ成長してきました。ここから、子どもたちは自らの力で自らの目指すところへと進みます。

3年生は、2年8ヶ月でつけた力を基に、受験へと全力を注ぎます。受験は義務教育を終了する前の大きな壁です。すでに目指すところが明確になってきました。やる時がきました。ここからは受験勉強に没頭です。教員もその支援に没頭します。温かい励ましをよろしくお願いいたします。

2年生は最高学年、義務教育終了の年をむかえます。職場体験を終え、しっかりとした生徒が増えました。進路を意識し始めた生徒もいます。今の力を、社会で認められ、貢献できる人間力へと高めるときがきました。先月、安中校友会の新組織が決定しました。2年生が責任をもって学校を動かします。演説会で表明した思いを形にしていけるのがここからです。1年生は、実行委員会を立ち上げ、学年行事を企画運営し、リーダーとして活躍する力をつけてきました。2学期には自然体験行事を復活させ、自分たちで行いました。朝読書など日々すべきことをしっかりする力が、部活動の結果などにもあらわれています。8ヶ月で頼もしい中学生となりました。ここからは、本格的に得意な力を伸ばす時です。得意教科、部活、コミュニケーション力、ボランティア活動、作文力など、書ききれませんが、それぞれには得意があります。得意を伸ばすことは、他の力を引き上げる原動力となります。

安中『ここから』です。

保護者や地域の皆さん、子どもたちの姿を見守り続けましょう。

9月からの安中生

9月、英語弁論大会があり、全国大会(高円宮杯)を目指して練習し、ブロック大会に2名の生徒が参加しました。二人の英語の発音と表現は見事で、素晴らしいパフォーマンスに圧巻でした。すでに次を見据えています。

10月、2年生中心のチームで初の公式戦でした。この大会を通じて生徒が大きく成長したことを実感します。各会場での礼儀正しい姿、お互いの励ましや支え、真剣に全力で取り組む姿勢などには感動でした。

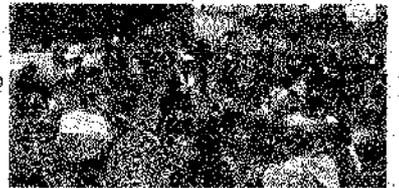
下旬には、国スポ・障スポが滋賀で行われ、2名がボランティアとして銃剣道の会場で活躍しました。44年ぶりに滋賀で開催された国スポにかかわってくれたことは、すごいことです。



10月後半から11月にかけて、吹奏楽部が様々な会場で演奏を繰り返しています。安中の演奏を聞かれた方々が、「毎回パワーが増して、感動をくれる」と言ってくれます。うれしい限りです。

住民自治協議会がクリーンアップ作戦を実施され、安中生がたくさん参加しました。

地域の方から学校へ電話がありました。「安中の生徒です。犬の散歩をしながら、地域のごみ拾いをしていました。すごい子がいますね。」うれしいことが続きます。



2年生が職場体験に行ったのも10月後半です。保育園で小さな子どもたちに優しく接する生徒、スーパーや道の駅でお客さんに丁寧に接する生徒、介護施設でお年寄りに寄り添う生徒、書ききれません。

社会で、優しく温かく貢献できる大人へと近づいていることに、うれしさはありません。

11月になり、駅伝大会です。秋季大会が終わってから、駅伝部を結成し、県大会、近畿大会を目指し、練習を積みました。当日の走りとサポートの姿を保護者と地域の皆さんに見ていただきたかったほどです。すべての生徒が「頑張る」表情をしていたのがすごいです。仲間との安心感、自分への自信を積み重ねたのでしょう。後ろから近づく他校の走者にプレッシャーを感じながら走ったと思います。必死でくらいつき、抜かれてもあきらめない姿にただ感動しました。「この記録じゃ満足できない」と言った生徒もいて、頼もしさを確信しました。大舞台での県大会、急なエントリーで走った生徒もいましたが、プレッシャーに負けず走り切りました。真剣に練習していた証拠です。終わって「応援ありがとう」という言葉に押しつぶされました。こちらが「感動ありがとう」です。

そして、安中感謝祭。3年生はすごかった。表面で述べましたが、やったことのないことを限られた時間の中で、自分たちが考え、行動しました。準備の中で、「手伝います。」「○○が必要です。」「自分が行きます。」「頼んでみます。」「大丈夫です。」という言葉がたくさん聞きました。何も言わずに人のために行動する生徒もいました。後片付けとなっても、給食後のグラウンドに一人増え、二人増えして、全員がものを運んだり、ごみを拾ったり、全く指示のない中で進みました。主体性です。

主体性は、どうしたら育ち、どうすれば発揮されるのか、いつも考えます。「今日良かったから、明日も」とは限りません。「家で問題ないから、どこでも」とも限りません。良い日そうでない日を繰り返して、少しずつ大人へと近づきます。これは子どもに限らず、人はそうだと、自分を振り返ります。温かくて安心できるからこそ自分を省みて、頑張れる気がします。時間がかかります。登下校のマナー、破損、スマホなど学校にはまだ課題があります。8か月間、多くの皆さんの支援、温かい見守り、そして、皆さんが子どもを信じてそばに居てくださることの大切さを感じてきました。子どもたちは安心して育とうとします。

最後までお読みいただきありがとうございます。ここから、あらためて皆さんと一緒に考え、元気に教育活動に携わりたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。